



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス 上場取引所 札
 コード番号 3055 URL https://www.hokutake.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 眞鍋 雅信
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員オペレーション (氏名) 巖 友弘 TEL 011-633-1030
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	60,314	3.1	404	16.5	798	21.0	598	48.9
2019年3月期第1四半期	58,492	2.3	346	△8.9	659	△8.8	402	△11.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △57百万円 (－%) 2019年3月期第1四半期 954百万円 (72.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	25.44	—
2019年3月期第1四半期	17.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	127,896	50,820	39.7	2,158.77
2019年3月期	125,064	51,101	40.9	2,170.74

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 50,815百万円 2019年3月期 51,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	9.50	17.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	116,500	1.1	800	△2.6	1,250	△5.0	800	0.9	33.99
通期	230,000	△2.2	1,700	△30.9	2,700	△21.8	1,600	△23.8	67.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	24,400,000株	2019年3月期	24,400,000株
2020年3月期1Q	860,834株	2019年3月期	860,725株
2020年3月期1Q	23,539,211株	2019年3月期1Q	23,642,533株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策などを背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善による堅調な民間設備投資や個人消費に支えられ緩やかな回復基調が続いているものの、長期化する米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題による欧州経済への懸念など、世界経済の不透明感が増しております。

医療業界におきましては、2018年4月に実施された診療報酬改定に伴い厳しい環境が続いております。

このような環境の中、医療機器卸売事業では、自動出荷設備や太陽光発電システムなどの機能を備えた新しい物流センターを今秋札幌市に竣工いたします。また、6月には十勝地区エリアサミットの企画として、当社グループによる「健康フェアinとかち」をとかちプラザ（帯広市）で開催し、病気や介護の相談会などを行い、400名以上の来場者がありました。

以上の状況のもと、当第1四半期連結累計期間における売上高は603億14百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は4億4百万円（同16.5%増）、経常利益は7億98百万円（同21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億98百万円（同48.9%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

(医薬品卸売事業)

医薬品卸売事業におきましては、2018年4月の診療報酬改定ならびに薬価引き下げが実施されたことにより、厳しい市場環境が続いております。このような中、高齢化の進展を背景とした生活習慣病薬、抗がん剤などの分野での売上が堅調に推移し、特に新薬の売上が好調に推移しました。一方で、商品カテゴリー別では長期収載品の売上が減少する傾向が依然続いております。利益面では販売管理費の圧縮や品目毎のきめ細かい価格管理を継続して取り組み、前年を上回る結果となりました。

その結果、売上高は441億85百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は2億5百万円（同30.4%増）となりました。

(医療機器卸売事業)

医療機器卸売事業におきましては、画像診断機器をはじめ手術装置関連機器などの大型機器の買い替え需要等があり、比較的順調に推移しました。医療材料等の消耗品においても売上は同様に推移しましたが、市場競争による納入価の低減傾向が続きました。また、当第1四半期連結累計期間におきまして、新規の医療機器卸売事業会社一社の加入により、売上・利益での貢献がりましたが、人件費などの販管費の増加を吸収できず、営業利益につきましては減益となりました。

その結果、売上高は141億66百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は1億43百万円（同12.8%減）となりました。

(薬局事業)

薬局事業におきましては、2018年4月に実施された調剤報酬改定への対応として加算の要件を満たす取り組みの結果、売上高は微増となりました。また、薬剤師や医療事務員の業務の見直しによるコスト削減で増益となりました。

その結果、売上高は36億10百万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は94百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、引き続き福祉用具レンタル・販売および住宅改修における営業員の増員・育成の強化を図りました。また、福祉用具サービス計画の作成提案から納品後のモニタリングの徹底まで、一貫した顧客重視の方針により、売上・利益ともに安定的に推移しました。サービス付き高齢者向け住宅の部門におきましては、定期イベントの実施などにより入居者数は安定推移しておりますが、訪問介護・看護部門での売上は伸び悩む状況が続いております。

その結果、売上高は8億5百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は79百万円（同5.4%増）となりました。

(ICT事業)

ICT事業におきましては、売上面では、大口顧客への機器販売案件の減少などにより前年同期を下回りました。利益面では、開発やシステム導入支援などの案件の受注件数が堅調に推移したことから、前年同期を上回る結果となりました。

その結果、売上高は3億56百万円（前年同期比16.3%減）、営業利益は13百万円（同12.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）としては、増加要素では、税金等調整前当期純利益で8億60百万円（前年同期比32.5%増）、減価償却費2億24百万円（同1.8%減）、たな卸資産の減少12億45百万円（同44.3%増）、仕入債務の増加で24億円（同65.7%増）ありましたが、売上債権の増加33億62百万円（同76.8%増）、法人税等の支払額4億72百万円（同47.9%減）などの要因により相殺され、営業活動によるキャッシュ・フローは12億94百万円（同30.1%減）となりました。投資により使用した資金は8億35百万円（同25.0%増）となり、営業活動によるキャッシュ・フローを4億58百万円下回ることとなりました。財務活動によるキャッシュ・フローにおいては配当金の支払額などで1億92百万円（前年同期は4億58百万円の獲得）使用し、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加しました。その結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は211億80百万円（前年同期比5.2%減）となりました

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億94百万円（前年同期比30.1%減）となりました。これは、税金等調整前当期純利益が8億60百万円（同32.5%増）、減価償却費が2億24百万円（同1.8%減）、たな卸資産の減少12億45百万円（同44.3%増）、仕入債務の増加で24億円（同65.7%増）ありましたが、売上債権の増加33億62百万円（同76.8%増）、法人税等の支払額4億72百万円（同47.9%減）によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は8億35百万円（前年同期比25.0%増）となりました。これは主に有形固定資産（医療機器卸売事業の新商品管理センターの建設等）の取得による支出で9億7百万円、新規連結子会社の取得による収入1億1百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億92百万円（前年同期は4億58百万円の獲得）となりました。これは主に配当金の支払額で1億81百万円（前年と同額の1株当たり配当金9.5円）およびリース債務の返済で9百万円使用したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日の決算短信で発表しました第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,913	21,180
受取手形及び売掛金	47,268	50,962
商品及び製品	15,577	14,335
仕掛品	0	2
その他	6,562	6,678
貸倒引当金	△28	△31
流動資産合計	90,294	93,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,322	6,347
土地	7,329	7,494
建設仮勘定	763	1,554
その他(純額)	542	573
有形固定資産合計	14,958	15,969
無形固定資産		
のれん	2,119	2,075
ソフトウェア	501	461
その他	92	93
無形固定資産合計	2,714	2,630
投資その他の資産		
投資有価証券	15,543	14,521
長期売掛金	361	327
破産更生債権等	0	0
長期貸付金	314	308
繰延税金資産	316	385
退職給付に係る資産	12	44
その他	763	778
貸倒引当金	△214	△197
投資その他の資産合計	17,097	16,168
固定資産合計	34,770	34,769
資産合計	125,064	127,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,437	70,309
電子記録債務	276	351
1年内返済予定の長期借入金	2	2
未払法人税等	504	499
賞与引当金	809	1,258
役員賞与引当金	128	30
返品調整引当金	53	53
その他	1,345	1,617
流動負債合計	70,557	74,122
固定負債		
長期借入金	22	21
繰延税金負債	1,963	1,521
再評価に係る繰延税金負債	120	120
退職給付に係る負債	529	566
長期未払金	283	279
資産除去債務	267	268
その他	219	173
固定負債合計	3,405	2,953
負債合計	73,963	77,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	11,821	11,821
利益剰余金	34,123	34,499
自己株式	△607	△607
株主資本合計	46,337	46,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,016	5,354
土地再評価差額金	△1,100	△1,100
退職給付に係る調整累計額	△156	△151
その他の包括利益累計額合計	4,759	4,102
非支配株主持分	4	5
純資産合計	51,101	50,820
負債純資産合計	125,064	127,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	58,492	60,314
売上原価	54,173	55,850
売上総利益	4,318	4,463
販売費及び一般管理費		
荷造費	228	242
給料	1,773	1,825
役員賞与引当金繰入額	26	29
賞与引当金繰入額	380	393
退職給付費用	84	86
法定福利及び厚生費	344	359
賃借料	72	80
貸倒引当金繰入額	2	—
その他	1,059	1,044
販売費及び一般管理費合計	3,972	4,059
営業利益	346	404
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	120	126
受取事務手数料	132	158
不動産賃貸料	35	37
持分法による投資利益	20	23
貸倒引当金戻入額	—	15
その他	51	67
営業外収益合計	360	431
営業外費用		
支払利息	0	0
不動産賃貸原価	24	23
遊休資産諸費用	6	7
持分法による投資損失	0	0
その他	16	6
営業外費用合計	48	37
経常利益	659	798
特別利益		
負ののれん発生益	9	179
特別利益合計	9	179
特別損失		
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	113
減損損失	—	0
段階取得に係る差損	18	—
特別損失合計	19	116
税金等調整前四半期純利益	649	860
法人税、住民税及び事業税	881	485
法人税等調整額	△635	△224

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
法人税等合計	246	260
四半期純利益	402	599
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	402	598

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	402	599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	546	△661
退職給付に係る調整額	5	4
その他の包括利益合計	551	△657
四半期包括利益	954	△57
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	954	△58
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	649	860
減価償却費	228	224
のれん償却額	43	44
負ののれん発生益	△9	△179
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△7	△15
受取利息及び受取配当金	△121	△128
支払利息	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△20	△23
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	113
段階取得に係る差損益 (△は益)	18	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,901	△3,362
たな卸資産の増減額 (△は増加)	862	1,245
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,448	2,400
未払消費税等の増減額 (△は減少)	358	76
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△8	15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	446	444
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△113	△98
未収入金の増減額 (△は増加)	749	△6
預り金の増減額 (△は減少)	62	138
その他	△51	△115
小計	2,637	1,638
利息及び配当金の受取額	121	128
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△906	△472
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,852	1,294
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△642	△907
有形固定資産の売却による収入	0	—
無形固定資産の取得による支出	△46	△19
投資有価証券の取得による支出	△13	△13
投資有価証券の売却による収入	—	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	26	101
貸付金の回収による収入	6	6
その他	△0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△668	△835

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△0	—
長期借入れによる収入	650	—
長期借入金の返済による支出	△0	△0
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△182	△181
リース債務の返済による支出	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	458	△192
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,641	266
現金及び現金同等物の期首残高	20,693	20,913
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,335	21,180

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売 事業	医療機器卸 売事業	薬局事業	介護事業	I C T事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	40,857	13,110	3,485	804	222	12	58,492
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,383	113	3	2	203	507	3,213
計	43,241	13,223	3,489	807	425	519	61,706
セグメント利益又は損失 (△)	157	164	△5	75	11	223	628

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	628
セグメント間取引消去	△210
のれんの償却額	△38
たな卸資産の調整額	△32
四半期連結損益計算書の営業利益	346

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

2 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

(1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	医薬品卸売事業	医療機器卸売事業	薬局事業	介護事業	ICT事業	その他	
売上高							
外部顧客への売上高	41,741	14,047	3,607	802	102	12	60,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,444	119	2	2	254	979	3,802
計	44,185	14,166	3,610	805	356	991	64,116
セグメント利益	205	143	94	79	13	644	1,180

(2) 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,180
セグメント間取引消去	△703
のれんの償却額	△38
たな卸資産の調整額	△34
四半期連結損益計算書の営業利益	404

(3) 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

医療機器卸売事業において、2019年4月1日付で株式会社ノバメディカルの株式を取得いたしました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間において、1億79百万円の負ののれん発生益を計上しております。